

**OPTION INTERNATIONALE DU BACCALAURÉAT  
SESSION 2013**

SECTION : JAPONAISE

ÉPREUVE : HISTOIRE - GÉOGRAPHIE

DURÉE TOTALE : 4 HEURES

Le candidat devra traiter l'UN des deux sujets de composition  
et faire l'exercice – étude critique de document(s).

*Les dictionnaires sont interdits.*

# HISTOIRE

## 1. 歴史 — 小論文

以下の二つのテーマのうち、一つを選んで小論文を書きなさい。

テーマ 1 — 「1948 年から 1992 年までの政治面からみたヨーロッパ」

テーマ 2 — 「1945 年以降からバブル経済の日本の経済成長について」

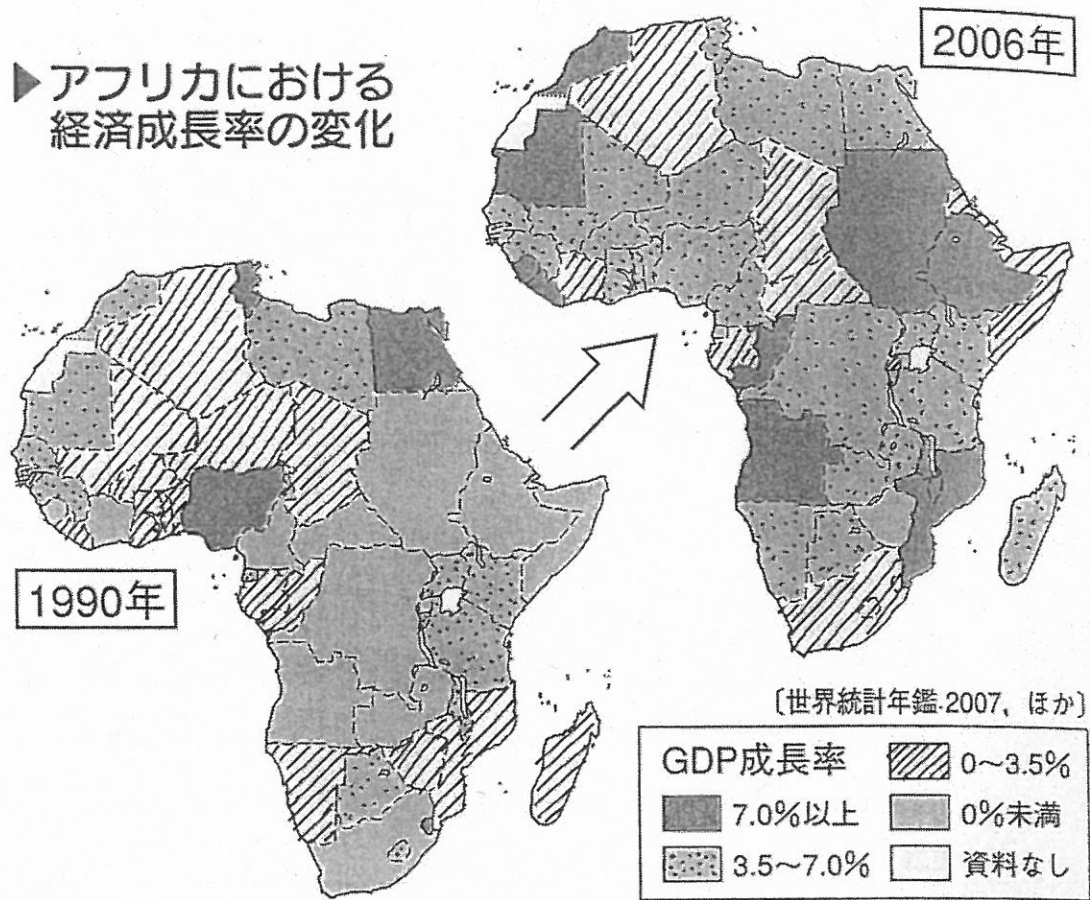
# GÉOGRAPHIE

## 第二部 地理資料問題

### 「アフリカの発展とその限界」

資料および自分の知識を利用して、20世紀末からのアフリカ大陸の発展とその限界について述べなさい。

資料1 アフリカにおける経済成長率の変化



出典：『新詳資料 地理の研究』、帝国書院、2011年

## 資料2 中南アフリカの産業

中南アフリカの多くの国々では、商品作物を栽培して輸出する農業構造に加えて、急速な人口増加や、周期的に発生する大干ばつ、都市への人口流出による農業従事者の減少、農業政策の失敗などから慢性的な食糧不足になっている。

主な鉱産資源産出国は、石油のナイジェリア、銅鉱のコンゴ民主共和国・ザンビア、ボーキサイトのギニア、石炭・クロム・マンガンなどの南アフリカ共和国である。いずれも資源の輸出にたよるモノカルチャー経済で、世界の景気に大きく影響されるとともに、資源をもたない国との間には南南問題もある。工業は、南アフリカ共和国の鉄鋼・機械工業や、ガーナのアクラでの水力発電によるアルミニウム工業を除いて、発達していない。その理由には、所得水準が低いために大市場がないこと、余剰労働力、とくに良質な労働力がないこと、電力・交通などの都市基盤が未整備であることなどが互いに関連している。貿易額をみると輸入超過の国が多い。それは、ガーナではカカオ豆、ケニアでは茶・コーヒー豆というように一次産品を輸出して、原油や機械類を輸入する貿易構造のためである。

中南アフリカは、人口急増とエイズなどによる死亡率の高さとに悩まされており、貧困からの脱却が重要な課題となっている。解決への第一歩は食糧自給で、農業技術の開発や普及が必要である。また、紛争の多発も経済発展を遅らせる要因となっている。

出典：『詳解地理B』、二宮書店、2011年